

平成 20 (2008) 年度「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書

提出日：2009年3月18日

氏名：馬場 秀雄

所属団体：BHN テレコム支援協議会

受入先機関名(所在国)：INTRAC (International NGO Training & Research Centre)

研修期間(全体)：2009年1月23日 ~ 2009年3月18日

研修テーマ：ヨーロッパに於ける先進 NGO の活動コンセプト、そのベースとなった基本的理論等の探求

全体研修目標： NGO 運営の基本となる幾つかの理論や実務内容に関して研修を行い、BHN 他日本の NGO 活動の参考に資する。具体的には、受講する Impact Assessment, Advanced Monitoring & Evaluation, Partner Capacity Building の内容を、BHN にて今後導入検討中のテレメディスンプロジェクトに具体的に提供する事とする。

また、Strategic Relations, Coalition Building & Networking については、BHN と同様のミッションを以って活動している、或は今後取り組もうとしている NGO 等との連携推進に応用するようにしたい。

今回訪問しようと考えている BT や C&W は、その為の活動の一環である。

具体的な研修内容： NGO 活動に関しては長年の歴史を有する団体 (NGO) が主催する 4 項目の講座を受講する。具体的には；

- ・ Impact Assessment
- ・ Advanced Monitoring & Evaluation
- ・ Strategic Relations, Coalition establishment & Networking
- ・ Partner Capacity Building

これと併行して、英国に本部を置く幾つかの NGO を訪問してそれらの運営および管理上の特徴を把握する。

同様に、研修に来ている NGO 代表者とも意見を交換することにより、世界で展開されている NGO 活動の実態を知り、そしてそれら NGO と自団体との協力関係を築いて行く可能性について模索する。

また、企業の CSR 活動として、NGO との協力関係があるのかどうか、通信事業者視点から人道支援活動先進の国での実態を調査する。

研修の成果：

（ 目標に対し達成できなかった内容がある場合は、その理由とあわせて報告してください）

1. INTRAC の研修受講

4項目の研修テーマは自 NGO に関わる一人として大変タイムリーで意義のあるものであった。

内容消化にはそれなりの苦労があったが、何とか合格点をクリア出来たものと判断している。

“Impact Assessment” と “Advanced Monitoring & Evaluation”

丁度 先輩が実行していたプロジェクトに関して、その事後フォローを行なっている中でまさしく話題になっているものが このテーマに関係する。

自 NGO への展開は元より今後、私自身が関わるであろうプロジェクトにそのまま適用できる内容として、それらの全てを学べたと云う事は大きな成果である。

講義内容の柱

プロジェクト等（Intervention）の基本の流れ

Stakeholder（関係者：Donor, Partner, 受益者, Project 実行者）の関わり（評価の視点が異なる）
評価の仕方が偏らない様に見定めること重要。

Participatory Monitoring & Evaluation Participatory（参画型）の重要性

Outcomes（成果）について、どのような指標を用いればよいのか。

幾つかの手法（Impact grid, Logical Framework）の実際

“Strategic Relations, Coalition establishment & Networking” も自 NGO がこれからのプロジェクト実行時に協力を求めなければならない相手国等のパートナーや関係 NGO との連携構築に適用できるものである。更に、海外の多くの NGO とのネットワーク（契約行為に至らなくても）を構築することで自 NGO の活動が行ないやすくなる事は自明であるが、その内容を学べた事は今後の自 NGO の方向性の参考になるものと思われる。

講義内容の柱

組織間の関係を戦略的に扱わねばならない理由。

- ・ 組織の価値、ビジョン、使命等が一致しているか、の確認の為
- ・ 関係に投資する為の判断支援 ・ 組織間ギャップの認識 ・ 新しい展開に向けた判断支援

3つのキーポイント（関係のタイプ：関わり深さの明確性と透明性：関係を作る為の投資）

タイプとして（Partner, Institutional Supporter, Program Supporter, Project Funder, Development Ally）

関わり深さの定義：単なる情報交換 コカ 影響度の共有 合同のコントロール

戦略的関係を築く為のチェックリスト

組織間関係に於ける権利と義務

ネットワーキングの必要性和重要性（動機 NW 構築 効果的 NW の能力 Accountability）

種々ツール

- ・ Belbin の役割判断テスト
- ・ Six Thinking Hats（6つの考える為の帽子）

物事を議論する際に、立場を特定して考える（例、青：中庸、緑：積極的、黒：用心深い）

“Partner Capacity Building”は、これまで自 NGO が行なってきた海外プロジェクトに於いて実際に行なっている現地での知識や技術力普及の為の研修と云うものを、更に包括的に実施できるようにする為の内容を得られたと思っている。

講義内容の柱

Capacity とは何か？

組織文化の特性（考慮しなければならない要素）

組織としての能力開発（自 NGO と Partner NGO）

能力開発必要性の評価、その手法

思考するに際しての方法論

- Peter Senge's 5 Disciplines
- Lateral Thinking
- Creative Thinking (Edward de Bono's 6 Hats)

組織能力の評価、その手法

- SWOT(Strength,)
- Force Field Analysis
- Fishbone Diagram

トレーニング（研修）のサイクル 研修計画の作り方

学習スタイル（個人の習性）の測定

2．英国 NGO からの情報収集

Tropical Health & Education Trust

- 途上国の病院や医療教育機関と英国の病院、研究機関との橋渡しをしている。
- 西アフリカでの医療協力をしている Wales の小児科大学助教授に橋渡しをして頂いた。

One World Action

- 組織マネジメントの特徴を把握できた事。

関連 NGO との定例会議（各レベルで）、HR の共有（会計担当）、スタッフの

BOND

- NGO を強力にサポートしている活動内容を認識できた事。

特にトレーニングを定期的継続的に実施している

AMREF

- ケニア本部の団体からの研修生がテレメディシンに期待を持ってくれた事。

3．研修生からの情報収集

全研修を通じて総数 59 名の研修生と 5 人の Facilitator（講師群）と知り合いになれ、且つその大半が東南アジア以外の日本と距離のある国々での活動家であった。個々の人物が関わる団体の概要を知ったのは以下のものである。

Sana's Basin Water Management Project (Yemen) UN Mission In Sudan (Sudan) Action Contre la Faim (Liberia) Earth Watch (UK) PACT (Zimbabwe) Water Aid (Ethiopia)

しかしながら、最も大きな成果は NGO と云う団体が、世界各地で行なっている活動の幅広さとその深さが実に巨大である事を目の当たりにした事である。そこには、一つの企業文化と同じ様な共通の常識的な発想や専門語があって、従事している者はそれに慣れ親しんでいると共に活動そのものに生き甲斐を感じている事を実感できた事である。

4．企業の CSR 活動として、通信事業者の視点から人道支援活動の実態調査

本件は、面談を御願ひしていたにも拘らず、相手先の応諾が得られず実施できなかった。

紹介を御願ひしたある会社のヨーロッパ本部の幹部によれば、経済の減退で CSR に関わる余裕が無くなって来ていると云うコメントがあった。

本研修成果の自団体の組織強化や活動の発展への活用方針、方法：

1. 研修テーマ “Impact Assessment” と “Advanced Monitoring & Evaluation” に関して。
これらは現実に展開している途上国でのプロジェクトにそのまま適用できるものがあり
自 NGO 内での検討を経て、可能なものから実行に移せるよう検討したい。
2. 研修テーマ “Strategic Relations, Coalition establishment & Networking” に関して
これまで海外の NGO 等との横の繋がりが少なかった経緯もあり、この内容を参考にして又今回得られた人脈を通して関係する NGO との協力関係を構築できれば良い、と考えている。
3. 研修テーマ ”Partner Capacity Building” に関して
1. 項と同様に、これまでに実行してきた自 NGO のプロジェクト該当国にて、この内容を適用出来るように自 NGO 内にて検討して実施に移して行きたい。
4. 英国 NGO からの情報収集
西アフリカを中心に医療支援を行なっている NGO と今後の協力関係が結ぶ事を考えたい。
NGO 組織運営に関して、自 NGO 幹部にそれらの特徴を報告し今後の参考にして頂く。
5. 研修生からの情報収集
BHN の専門性である ICT による人道支援を更に広げて行く為に、それらに興味を持ってくれた研修生を通じて関係する NGO との協力関係を築いてゆく為の検討を行なう。

以上